

第3学年 技術 年間指導計画

1 教科目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 評価の観点

生活や技能への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
エネルギー変換、情報に関する技術について関心を持ち、技術の在り方や活用の仕方等に関する課題の解決のために、主体的に技術の評価し活用しようとする。	エネルギー変換、情報に関する技術の在り方や活用の仕方等について課題を見つけるとともに、その解決のために工夫し創造して、技術の評価し活用している。	エネルギー変換、情報に関する技術を適切に活用するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	エネルギー変換、情報に関する技術についての基礎的・基本的な知識を身に付け、技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。

3 評価基準（100点満点）

方法	観点 生活や技能への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術について の知識・理解	合計
定期試験		15	10	25	50
提出物	10				10
授業態度・授業振り返り	10				10
作品	5	10	15		30
合計	25	25	25	25	100

4 使用教材

教科書「新しい技術・家庭 技術分野」（東京書籍）

5 年間学習計画（計17.5時間）

学期	月	単元名	学習目標	時間	主な評価規準	評価方法
1	4	◎エネルギー変換に関する技術	・エネルギー変換方法や力の伝達の仕組みを知る。 ・点検の必要性を理解し、保守点検と事故防止について考える。 ・テーブルタップの製作をする。	44	・エネルギー変換方法や力の伝達の仕組みを知ることができる。(知識) ・機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができる。(技能) ・エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。(理解) ・エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。(創造) ・点検の必要性を理解し、保守点検と事故防止ができる。(製品の定格表示・安全に関する表示・許容電流の遵守・適切な使用方法)(技能)	学習ノート
	5	・エネルギー変換機器の仕組みと保守点検 ・テーブルタップの製作				テスト
	6	★言語活動 考えたことをもとに製作する。				学習ノート
	7	・期末テスト				テスト
2	9	◎情報に関する技術	・コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る ・情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成する。	126	・コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを理解することができる。(センサ・コンピュータ・アクチュエーター)(理解9 ・情報処理の手順を知り、フローチャートを適切に用いることができる。(順次・分岐・反復)(知識) ・情報の処理手順を整理することができる ・情報のデジタル化と、その特徴について理解する。(理解) ・新しい発想を生み出し活用しようとする。(工夫9 ・情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できる。(技能) ・工夫して、自分の考える物と同じものを作成することができる。(工夫)	行動観察
	10	・プログラムによる計測・制御(簡単なプログラムの作成)				
	11					
	12					
3	1		・期末テスト	1		
	2					
	3					